

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【476】

2. 日時：令和5年5月12日 10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官※、千明主任安全審査官、
中村主任安全審査官※、服部(正)主任安全審査官、府川安全審査専門職、
谷口技術参与、三浦技術参与
技術基盤グループ 地震・津波研究部門
大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他4名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他6名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制庁の千明です。島野原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めます。本日午前の説明項目は、耐震、
0:00:11	経産省の田井加瀬耐震鋼材と溢水防護施設のコメント回答と、
0:00:17	計算機プログラムのコメント回答を予定しております。それでは資料の確認と、進め方について説明をお願いします。
0:00:26	はい。中国電力の高松です。それでは資料の確認からさせていただきます。まずは仮設耐震構台の耐震計算書でございます。資料番号でN-Sに、
0:00:39	他 336、鶴飼の 03 ということでこちら一番をお願いします。提出日は 5 月の 10 日です。
0:00:47	続きまして、NS2.2014-38 ということでこちら 2 番をお願いします。こちら提出日は 1 月の 23 日でございます。
0:01:00	はい。続きまして資料番号N-Sに補 027、10、-93 回の 02 ということで補足説明資料でございます。資料番号 3 番をお願いします。
0:01:13	こちらは提出日 5 月の 10 日でございます。
0:01:17	はい。続きまして溢水の関係でございます耐震計算書をの水源としてBCクラスの機器の耐震性についての計算書の関係です。
0:01:27	資料番号N-Sにほか、335 を簡易の 03 ということでこちら、4 番をお願いします。
0:01:37	はい。続きましてN-Sに- 2、017-02 会員の 05 ということでこちら 5 番をお願いします。
0:01:48	はい。続きましてN-Sに補 027、10 の 94、簡易の 03 ということで、こちら 6 番をお願いします。
0:01:59	薄井の関係につきましては提出日はすべて 5 月の 8 日でございます。
0:02:03	はい。続きまして計算機プログラムのコメント回答ということでファイナンススターの関係でございます。資料番号N-Sに他 082、簡易の 03 ということで、こちら 7 番で、7 番をお願いします。
0:02:21	はい。続きましてN-Sにテングウを-056、簡易の 02 ということでこちら 8 番をお願いします。提出日はいずれも 5 月の 8 日でございます。
0:02:34	はい。で資料は以上でございます進め方ですが、仮設耐震鋼材、碓井水源としてBC計算機プログラム、この順番で、
0:02:45	基本的には 1 問 1 等ということでコメント回答を順次させていただきたいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:52	はい。規制庁池田です。はい、わかりました。それでは説明の方お願いします。
0:03:00	はい。中国電力の早田です。それではまず仮説最新構台のご説明をさせていただきます。
0:03:08	資料ナンバー1の回答整理表の1ページをお願いいたします。
0:03:15	コメントNo. ナンバー6。
0:03:17	C断面及びD断面についてアクセスルートの通行性への影響、水平2方向同時加振及び、
0:03:25	構造の切れ目における干渉を踏まえた評価対象断面の妥当性について説明すること。
0:03:31	こちらと、コメントNo. 7、
0:03:33	A断面より西側にモリド斜面末オンダするため地質地質構造及び地形を踏まえた網羅性を考慮し、評価対象断面断面の代表性について説明すること。
0:03:46	こちらと、次の2ページの方のコメントナンバー
0:03:51	13です。各断面の構造部材の強度特性、
0:03:57	動特性を比較する投資、評価断面の相違がないことを説明すること、こちらについてまず回答させていただきます。
0:04:07	回答につきましては、
0:04:10	資料No. 3、補足説明資料の16ページをお願いいたします。
0:04:22	資料ナンバー3の通し番号16ページ。
0:04:25	こちらが評価対象断面の選定に当たりますが、評価対象断面は、施設の損傷転倒及び落下等による影響と、相対変位による影響、並びに屋外のアクセスルートへの影響を評価する観点から、
0:04:39	教授直行方向及び教授方向からそれぞれ断面を選定いたします。
0:04:45	強軸直交方向の評価に当たりましては、
0:04:49	9ページに断面位置をお示しておりますが、
0:04:53	AA断面及びc断面のうち、A断面を評価対象断面としております。
0:05:00	AA断面より西側に、
0:05:03	ですねモリ土砂面が分布することから、こちらにつきましてはAA断面を評価対象断面とする妥当性確認結果を、後程ご説明します参考資料1にお示しております。
0:05:16	強軸方向の評価に当たりましては重田のスパン長が20メートルの区間と、B断面側に対して重田の縁が切れている14メートル区間、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	D断面の内スパン上が長く、営業課橋脚がより大きな荷重を分担する区間であるB断面を評価対象断面としております。
0:05:36	評価対象断面以外の断面、C断面及びD断面における耐震性評価を参考資料 2 にお示しております。
0:05:44	136 ページをお願いいたします。
0:05:52	136 ページからが、参考資料 1 ということで、AA断面を評価対象断面とする妥当性について、
0:06:00	この資料になります。
0:06:02	1 ポツ概要の 2 パラ目ですが、低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽南側の仮設耐震構台は、東西方向に延長が長いこと、及び西側にはモリ土砂面が分布することから、
0:06:16	断面を評価対象断面として選定する妥当性を確認いたします。
0:06:21	仮設耐震構台の評価対象断面であるA断面と、A断面より西側のE断面、
0:06:28	のCvの基部における地震応答解析結果を比較します。139 ページをお願いします。
0:06:38	こちら 4 ポツ、確認結果ということで、表に数値をお示しておりますがこちら前回から変更はございません。
0:06:46	A断面及びE断面において最大静加速度、最大鉛直加速度ともに概ね同等の値であることを確認しました。
0:06:55	以上を踏まえまして強軸方向に概ね同等の断面が連続することから、評価対象断面としてA断面を選定する妥当性を確認しました。
0:07:05	140 ページをお願いします。
0:07:10	140 ページが、参考資料 2 ということで、評価対象断面以外の耐震性評価についてになります。
0:07:18	1 ポツの概要といたしまして 3 パラ目ですが、C断面、D断面は、評価対象断面としていないが、
0:07:27	A断面及びB断面と、支持杭の間隔及び本数、
0:07:31	施主感情等が異なることを踏まえ、原子炉建物へのアクセスルートとなる当該区間の、
0:07:38	仮設耐震構台が上位クラス施設に対して波及的影響を及ぼさないこと、及びアクセスルートの通行性を確認いたします。
0:07:47	141 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:52	2 ポツ 1 評価方法ということでC断面及びD断面の概略検討においては、照査値が最も厳しくなる地震動及び主要な構造部材を確認するため、評価対象断面であるA断面及びB断面の調査結果を、
0:08:07	下の表に整理いたしました。
0:08:10	断面及びB断面の評価においては、地震動はS _s -D、
0:08:15	評価対象部位は、支持杭が最も厳しく、照査値が厳しくなる条件であることを確認しました。
0:08:22	以上のことから地震動をS _s -D、評価対象部位は、し、支持杭を対象といたします。
0:08:30	2 ポツ 2 ですが、評価対象断面以外のC断面とD断面で、強度特性及び応答特性を確認するため、概略モデルによる比較検討を行いました。
0:08:42	基準地震動S _s -Dによる支持杭の照査値を確認したところ、
0:08:47	142 ページの下の方に表でお示しておりますが、
0:08:52	C断面よりD断面の方が厳しい結果となることを確認しました。
0:08:57	従いましてD断面について耐震性評価を実施いたします。143 ページをお願いします。
0:09:07	2 ポツ 2 の検討により、照査値が厳しくなるD断面について解析モデルを
0:09:14	作成し、耐震性評価を実施いたしました。
0:09:18	表の 3 に基準地震動S _s -Dによる支持杭の調査を実施し、
0:09:24	構造成立を各構造成立性を確認いたしました。
0:09:28	144 ページをお願いします。
0:09:33	D断面による、今回、
0:09:35	設工認と概略検討の結果を比較した結果概ね同等の結果がえられたことから、D断面を評価することにより、C断面についての耐震性も確認確保していると判断いたしました。
0:09:49	以上より、C断面及びD断面の架設最新構台が上位クラス施設に対して波及的影響を及ぼさないこと、及びアクセスルートの通行性を確認いたしました。
0:10:00	以上がコメントNo. 6、7、13 の回答になります。
0:10:08	はい。
0:10:09	はい、規制庁事業率。それでは今説明がありましたコメントNo. 673 に関して、確認する点がある方、お願いします。
0:10:36	規制庁の土岐ですが、橋井が出したコメントで、
0:10:41	私単独じゃないですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:44	13 とかですね、私は思いましたところに関しては一応これで理解できましたので、これで結構かと思います。
0:10:54	はい。
0:10:55	鴫田チギラです。私は 7 番は私のコメントだったと思いますが、こちらの回答内容で結構です。
0:11:06	はい。
0:11:09	では 6、7、13 コメントに対して、
0:11:13	では棟梁といたします。
0:11:16	また何か記載とあればですね、
0:11:19	また後程ですね。はい。
0:11:23	何かちょっと確認する点があるかと思いますが。はい。とりあえずは回答の方、はい、進めてください。お願いします。
0:11:32	はい。中国電力の早田です。続きまして資料 1 の回答整理表の
0:11:39	1 ページ、コメント No. 8、上部工及び接合部について評価対象部位の選定の妥当性を説明すること。
0:11:48	こちらと、2 ページいただきまして、
0:11:54	道路狭小書による公共の調査項目及び、
0:11:58	コメント No.12 の
0:12:01	道路供試保証における工業高校生協の調査項目及び構造細目について網羅されていることを説明すること。
0:12:10	なお省略する場合はその理由を説明すること。
0:12:13	こちらと、あとは、コメント No.14、
0:12:17	各断面について全部の荷重の伝達機構へ期待する役割設計上の扱い方を明確化し、評価対象部位の選定の考え方及び、
0:12:27	設計条件を再整理すること。
0:12:30	こちらと、あとコメントナンバーの 15 ですね、B 断面における東側及び西側の支承部の構造と仕様を明確化すること。
0:12:40	こちらにつきまして回答させていただきます。回答につきましては、資料 3 の 21 ページ、通し番号 21 ページを、
0:12:49	お願いいたします。
0:12:58	21 ページが、2 ポツ 6、評価対象部位ということで、評価対象部位は、各評価対象断面における設置状況、役割地震時の荷重作用を考慮し、
0:13:10	主要な構造部材及び連結結合部から選定いたします。
0:13:15	評価対象部位を、22 ページ。
0:13:19	22 ページが主な構造部材 23 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:23	が、連結結合部ということで前回から追加したところになりますが、こちらをお示ししております。
0:13:32	断面ごとの整理といたしまして 21 ページに記載しております。A断面における主要な構造部材の評価対象部位は、水平材斜材及び支持杭とし、
0:13:44	連結結合部の評価対象部位は周支承部、首座固定ボルト支承部桁受け、受けた支持杭溶接部の水平材支持杭と、
0:13:56	謝罪支持杭といたします。
0:13:59	評価対象部位につきましては、25 ページと 26 ページ。
0:14:05	こちらに図でお示ししております。
0:14:08	なお主要な構造部材のうち、重田桁受け及び受けたは、繁タカマツ萬上の短い横坑及び対傾向により、トラス構造となっていること。
0:14:19	及び桁受けと受けたが、スパン上の短い補強材によりトラス構造となっていることから、評価対象部位と比較し、十分に剛なとみなすことができるため剛梁要素としてモデル化しております。
0:14:33	重田菅野横尾及び田井傾向を剛梁とすることの妥当性確認を参考資料 4 の方に、
0:14:40	桁受け小河張り要素とすることの妥当性確認を、参考資料 5 にお示ししております。
0:14:47	148 ページをお願いいたします。
0:14:56	通し番号 148 ページからが、参考資料 4 ということで、
0:15:01	重田菅野横尾及び田井傾向を 5 割とすることの妥当性確認についての資料になります。
0:15:08	2 段落目ですが、繁田神野横尾及び体型皇后張り要素とするにあたり、その妥当性確認のため、予告を呼びたい傾向が健全であり、構造が成立することを確認いたします。
0:15:21	149 ページをお願いいたします。
0:15:26	149 ページ、重田菅野横尾及び田井傾向を梁要素とすることの妥当性確認は、本文における断面の地震応答解析結果よりえられる。
0:15:39	最大応答加速度の 18.6 を上回る加速度。
0:15:43	こちらが 20 になりますが、こちらを用いた二次元フレーム解析により実施いたします。
0:15:49	フレーム解析にあたっては繁田横尾及び田井傾向を線形はり要素でモデル化し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:55	設計振動を繁田に与えることで、予告を呼びたい傾向に発生する応力度が許容限界以下であることを確認し、構造成立を確認、構造成立性を確認いたします。
0:16:07	151 ページをお願いいたします。
0:16:12	解析モデルと体系コウノ各断面を、151 ページから 154 ページにお示ししております。
0:16:21	155 ページを、
0:16:22	お願いいたします。
0:16:26	155 ページからが、確認結果ということで横尾及び田井傾向の調査結果を表にお示ししております。
0:16:34	予告及び体傾向に発生する圧縮力及び引張力が許容限界以下であり、構造が成立することを確認したことから、有効及び対傾向をはり要素とする妥当性確認いたしました。
0:16:47	156 ページをお願いいたします。
0:16:52	156 ページからが、参考資料 5 ということで桁受けを剛梁要素とすることの妥当性確認についてとなります。
0:17:01	2 段落目ですが、桁受けを剛梁要素とするにあたりその妥当性確認のため桁受けを線形はり要素としてモデル化した場合においても、桁受けが健全であり構造が成立することを確認いたします。
0:17:15	157 ページをお願いいたします。
0:17:20	評価方針ということで、
0:17:22	桁請負うはり要素とすることの妥当性確認においては、
0:17:26	158 ページ。
0:17:28	に、解析モデルをお示ししておりますが、
0:17:32	本文において剛梁要素としている桁受け汚染源梁要素としてモデル化を行い、池田受けに発生する応力度が許容限界以下であることを確認し、構造成立性確認いたします。
0:17:45	159 ページをお願いいたします。
0:17:50	確認結果になります。断面において桁受けを線形はり要素としてモデル化した場合においても、
0:17:57	表にお示ししております通り、桁受けた受けタカノ固定ボールド、こちらに発生する曲げ軸力、せん断力及び引張力が許容限界以下であり、
0:18:09	構造が成立することを確認しました。
0:18:12	また、161 ページ以降に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:16	モデル 1 モデル 2 ということで、本部におけるモデルとこちらの参考資料におけるモデル、
0:18:23	ーA断面力図をお示しておりますが、
0:18:26	断面力図は概ね同等であることを確認いたしました。
0:18:30	以上より、桁受けを剛梁要素とする妥当性を確認いたしました。
0:18:36	ページ戻りまして 21 ページをお願いします。
0:18:47	21 ページの 3 段落目です。B断面における主要な構造部材、
0:18:52	の評価対象部位は、重田受けた水平材斜材及び支持杭とし、
0:18:58	連結結合部の評価対象部位は、支承部のソウルプレート、
0:19:02	固定ボルトの壊死勝負桁受け、桁受け受けた。
0:19:09	それと、受けた支持杭の溶接部につきましては水平材種類と謝罪支持杭といたします。
0:19:17	また、架設最新構台。
0:19:20	肥田東側の橋台西側の置換コンクリート及びこれらに、連結結合部についても、評価対象。
0:19:28	といたします。
0:19:30	B断面の東側と西側の支障を、
0:19:34	46 ページ。
0:19:38	から 48 ページの方でお示しております。
0:19:43	48 ページの方に解析モデルをお示しておりますが、
0:19:50	東側西側の
0:19:52	橋台の部分と置換コンクリート、
0:19:55	いずれも稼動支障となっております。
0:19:59	21 ページの方に、
0:20:01	戻っていただきまして、
0:20:03	4 段落目ですね、設計にあたって準拠した道路業司法省。
0:20:09	公共変耐震設計編に対する網羅性と、評価対象部位選定の考え方について参考資料 6 にお示しております。
0:20:20	164 ページをお願いいたします。
0:20:32	164 ページからが、参考資料 6 ということで、
0:20:37	道路供試ホウジョウの網羅性と、評価対象部位選定の考え方についてになります。
0:20:44	本文の評価対象部位、2 ポツ 6 でお示してます評価対象分につきましてはこちらを踏まえて設定しております。
0:20:52	前回からの評価対象部位の変更を踏まえまして、165 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:58	以降ですね、この表を更新いたしました。
0:21:03	164 ページの方で記載しておりますが、1 ポツが 4 の 2 段落目です。
0:21:10	設計に用いる指針等については道路教習報償
0:21:15	の公共編及び耐震設計編。
0:21:19	の平成 14 年版を主に適用しております。
0:21:22	また、道路供試褒賞公共編の平成 24 年版におきまして、軸方向と曲げを同時に受ける部材の応力等の照査式に見直しがなされたため、
0:21:34	水平材等の許容限界の算定におきましては、当該指針を適用しております。
0:21:40	以上の説明が、コメントNo. 8、コメントNo.12、14、15 の回答となります。
0:21:53	はい。規制庁、由良です。それでは今、説明がありましたコメントNo.8、12、14、15 の回答内容に対して、確認する点がある方、お願いします。
0:22:05	ですけども、まず一番、8 番からですね、12 番 14 番、5 番、椎名。
0:22:13	コメントとして関係してるんですけど、一応私としては、
0:22:17	記載事項と、
0:22:21	記載していただく必要があるものがもう記載され、されてることで認識しています。
0:22:26	ですね、それで結構かどうか。
0:22:31	はい、尾藤チギラです。他、
0:22:38	規制庁のミウラです。
0:22:41	ちょっと内容的なことではないんですが、今ご説明なられたやつの、
0:22:45	資料 3 番の 21 ページ。
0:22:50	なんですけど、書かれてることはこれ十分理解できました。
0:22:55	記載上の話として、例えば十二、三行目ぐらいに、
0:23:01	桁受けを 5 割とすることの妥当性結果を参考資料 5 について書いてありますよね。
0:23:07	それから二十二、三行目の土岐委員。
0:23:10	3、2、3 の構造物のモデル化に示す通り 5 張り要素としてモデル化すると、やっぱりここでまた、
0:23:17	ダブってなんか桁、桁受けの話がこう出てくるんですよ。
0:23:22	むしろあれじゃないですか。上の方の、
0:23:25	参考資料 5 を引っ張り出すのは下の方で引っ張り出した方がいいんじゃないかなと思うんです。もうこれ記載だけの話ですが、
0:23:32	ちょっと記載のバブルがあるような気がします。
0:23:35	よろしいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:42	はい。中国電力の早田です。さっき、今ほどご指摘いただいた点、適正化したいと思います。よろしくお願いします。それとあと、
0:23:52	同じ資料の 151 ページ。
0:23:57	なんですけど、今回、
0:24:01	はい。
0:24:02	横尾とか田井斜めの部材のチェックやるところで解析モデル二次元のフレームモデル校出されてますよね。
0:24:10	このモデル化っていうのは、
0:24:14	これ平面的なモデル化をされてるんですか、ちょっと。
0:24:18	モデル化のやり方がよくわからない。はい。お願いします。
0:24:22	はい。中国電力の早田です。こちらにつきましては平面的に上から見たところをモデル化してるというところになります。これフレームで動いてるんですけど実際にはその斜材とかってありますよね。
0:24:37	それはどういう考え方にモデル化されてるんですか。はい。中国電力の早田です。
0:24:43	藤。
0:24:44	例えばですけど、体型コウノところが、実際には、
0:24:50	へえ。
0:24:51	檀。平面的に見た時に奥行き方向に斜めに入ってるものになります。
0:24:58	こちらについては、こちらの平面のフレーム解析モデルから出てきた。
0:25:04	応力に対して、手計算じゃないですけどそういったところでこの 153 ページ、
0:25:15	ですね、お示ししてます。
0:25:18	このモデルでいうと、
0:25:22	左右の方向に、
0:25:25	力が加わるような解析を二次元でやってるんですけど、この斜材につきましてはその角度等を考慮して、
0:25:33	応力を算出し直してそれに対して調査を実施しております。二次元フレームでその体系高をモデル化するときの剛性ってのはどういうふうに入れてるんですか。
0:25:47	はい。中国電力の早田です。こちらの斜材については、剛性を見込んでなくて上弦材。
0:25:56	の剛性を見込んでいるというところですよ。
0:26:00	あとこれ境界条件はどのような境界条件とってます。あと荷重はどのようなふうに出ています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:09	はい。中国電力の早田です。荷重につきましては、
0:26:15	繁田に発生する。
0:26:18	加速度を、重田の重量に掛けて、
0:26:26	慣性力をまず繁田に与えて、その結果横後退傾向にどういった効力が発生するかというところを確認しております。
0:26:37	わかりました。わかりましたっていうか、
0:26:40	ちょっとねえ。これ、先ほどのもう一度確認します。対傾向は合成として入れていない。
0:26:48	荷重としては見てるけど、どうでしたっけ。体型コウノ上弦材は、剛性として見込んでおり、現在は見ていただいています。なるほど。
0:27:00	その謝罪部分に関しては、その 153 ページからモデルで簡単な手計算方式でチェックをしていると、そういう理解していいですか。ご認識の通りです。はい。
0:27:10	大体解釈の内容わかりました。ただ先ほど言ったようにね、
0:27:14	これパッとこの解析モデルが出てきても、
0:27:17	一体何をどういうふうに戻るかしてどういうふうにやられてるかって内容がよくわからないんですよ。ですから今言ったように、体系高に関しては、横沢だけをモデル化してやって、斜材の剛性を入れていない。
0:27:29	とか、もう少し何かフローチャートだったらいいかもしれないね。
0:27:32	153 ページをつなげるような、あとは、境界条件とか、あと荷重の与え方。
0:27:39	これはもうちょっと説明をしておかないとちょっとこの
0:27:43	いきなりこの二次元フレームが出てきてね、結果だけポーンと出てくるんではちょっと我々としては理解できないですか。それいかがですか。
0:27:52	はい。中国電力の高松です。ご指摘いただいた通りかと思えますちょっと今の資料の中でですね、ご指摘いただいた境界条件とか荷重の与え方とかですね、
0:28:02	説明しきれない部分がございますんで、そこについては拡充して、反映させていただきたいと思えます。はい、わかりました。
0:28:10	おそらくやられてることはこれでいいんじゃないかなというふうに私は思ったんですけど、ちょっと解析の中身わからないので、あとはステップとして 153 につなげるときには、
0:28:20	こんなフローでこういう解析をやってここはこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:23	何とか斜材対傾向は肯定計算でやってるんだよとかね、そういうものも含めて、もうちょっとこの部分は、詳細にですね説明を加えていただきたいと思います。いかがですか。
0:28:35	はい。中国電力の高松です。フローについても承知いたしました。全体像が見えるようにすると、そういった荷重のかけ方を含めた説明が不足している部分を拡充して、
0:28:47	評価したいと思います。よろしく願います。はい。私は以上です。
0:28:58	はい。中国電力の原田です。ちょっと、こちらにつきましては確認して、はい。再度ご説明させていただきます。
0:29:19	はい。
0:29:20	杉田チギラです。
0:29:22	ここ、コメント 82、1045。
0:29:27	に関して確認する点。
0:29:30	よろしいですかね。
0:29:32	じゃ、基本的にはコメントについては良ということで、はい。
0:29:39	はい。
0:29:42	そうですね。あと、先ほどのミウラの方のお話については適正化等ですね拡充していただきたいと思います。またちょっとこの後ですね全体で見た時にですね何か
0:29:55	確認する点等あるかもしれませんが、一旦進めたいと思いますので、次の説明をお願いします。
0:30:03	はい。中国電力の早田です。それでは資料番号 1 の回答整理表。
0:30:09	の 1 ページ、コメント No. 9 の
0:30:13	基礎地盤の支持性能に対する評価について、杭基礎の評価として妥当であることを説明すること。
0:30:20	こちらと、2 ページの、
0:30:22	コメントナンバー、
0:30:25	19 ですね、支持杭の引抜きに対する調査結果を説明すること、こちらについて回答させていただきます。
0:30:34	回答につきましては、資料番号 3-95 ページをお願いいたします。
0:30:47	95 ページが、基礎地盤の支持性能に対する許容限界ということで、しずぎんの引き抜きの調査についても黄色ハッチングのところ記載しております。
0:30:58	支持杭の引抜きにより、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:00	プレボーリング面と、岩盤の間に発生する周面摩擦力に対する許容限界は、
0:31:06	地盤の支持性能に、
0:31:09	性能に係る基本方針に示す、岩盤のせん断強度を、極限周面摩擦力度として設定しております。
0:31:17	129 ページをお願いいたします。
0:31:30	129 ページからが、基礎地盤の支持性能に対する評価結果。
0:31:36	というところで 130 ページの方に、A断面の引き抜き、
0:31:44	調査の結果、
0:31:46	132 ページの方に、
0:31:49	B断面の引抜き評価の結果を記載しております。
0:31:54	仮設耐震構台の基礎地盤に生じる引き抜き周面摩擦力度が、いずれも許容限界以下であることを確認しました。
0:32:03	以上が、コメントNo. 9 と、コメントNo.19 の回答になります。
0:32:11	はい。規制庁桐生です。では、今の回答に対して確認するとある方お願いします。
0:32:19	規制庁の矢崎ですが、率いに関しては整備が、
0:32:24	発生しないとはもともと理解できましたが一応、
0:32:28	調査項目としてしきっちりとですね、審査したってこともこれでわかりましたんでこれで結構です。
0:32:39	規制庁の服部です。コメント番号 9 番に対しては基本的に医療、
0:32:43	返しました。
0:32:45	ただ 1 点ちょっと確認をしたいんですけども、支持力の調査をし、評価をしているときに、これはコンクリートを含めた全断面で評価をしているのか。
0:32:56	それとも鋼管杭だけ。
0:32:58	で評価をしているのかいずれ、どちらなのでしょうかどうかどうぞ。
0:33:02	はい。中国電力の原田です。こちらにつきましてはコンクリートを含めた断面面積ですね、
0:33:10	調査をしております。
0:33:13	規制庁の服部ですわかりました。その時に、
0:33:16	その押し込み力に対して、
0:33:18	コンクリート等、
0:33:20	鋼管の付着、これが切れないっていうことは確認していますよね。
0:33:35	いいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:37	中国電力のムラシゲです。どうぞ。
0:33:41	2人につきましてはですね交換とそれから、
0:33:44	周辺のコンクリートにつきましては、そちらでもですね引き抜けを考えても、
0:33:50	資金に対してもですね切れないと、
0:33:57	自宅で満足することを確認してございます。以上です。
0:34:02	規制庁の服部です。引き抜きじゃなくて押し込みに対して、
0:34:07	もう切れない。
0:34:10	お客が切れないということは確認してますかっていう確認だったんですがいかがですか。
0:34:23	中国電力のムラシゲです。大変失礼いたしました。押し込みに対してはですね現在ちょっとまだ確認ができてない状態ですので、衛藤、また、
0:34:33	持ち帰りまして確認をして、次回ご説明をさせていただきたいと思えます。以上です。
0:34:38	規制庁の服部ですはい確認だけしといていただければそれは結構です。メカニズムとしてはおそらく、鋼管ぐいのところに力がかかってそれが周面のコンクリートに伝達されて、
0:34:52	一体化して、支持力として反力が出るということなので、そこが切れてしまう等、全断面有効になれないので、そこだけ確認しておいていただければ、今の評価が、
0:35:03	OKだということになりますので、確認だけしておいてください。以上です。はい。中国電力の高松です。ご指摘の趣旨は承知しましたので、確認して、必要によって資料かとか、考えたいと思えます。以上です。
0:35:21	はい、規制庁というやつ他ありますか。
0:35:26	すいませんちょっと私から、95ページなんですけど3-03の資料の95ページの、
0:35:34	先ほどの極限周面摩擦力度、
0:35:39	なんですけど、これもう、これの経営限界決めているところの、
0:35:46	何か準拠したものっていうのは何かあるんですかね。ここに書いてあることは、岩盤のせん断強度は地盤の支持性の
0:35:56	っていうところがあるんですけどそのあとの極限周面摩擦力度の設定については、何かを参照したとかですね、そういったことが書かれてないんですけどそこについてはどのようなお考えか、説明をお願いします。
0:36:33	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:34	中国電力のムラシゲです。こちらにつきましてはですね
0:36:39	準拠基準等はありませんで、基本的には
0:36:45	押し込み側につきましてはどうろきょう示方書に基づいてプレボーリング面、プレボーリングをしたような場合のですね押し込み側の調査をしているものが、
0:36:55	ございますのでそちらの考えを準用して、
0:36:59	引き抜き側に対しても、
0:37:02	調査をするということで、検討いたしまして、周面摩擦力、主、せん断強度周面摩擦ということ、周面摩擦
0:37:11	力度に置き換えるということで、設定をしたものでございましてこの種極限周面摩擦力度というものが、こういう基準でという明確なものがはございません。以上です。
0:37:38	はい。中国電力の人見でございます。
0:37:42	今、今井さんを押し抜きは努力をやって引き抜きもですね、
0:37:47	こういった日本の杭の時の引き抜きのものでございまして、そこをちゃんと準用して、考え方を持ってくるようにします考え方自体は、
0:37:57	周辺の周りの面積を出してやってる道路上の単純な引き抜きだと思っておりますのでちょっとその住居基準がどこかというところだけ確認をさせていただけたらと思います。以上です。
0:38:10	はい。
0:38:11	そこははい。拡充の方お願いします。
0:38:20	よろしいでしょうか。
0:38:24	はい。
0:38:26	では、それでは
0:38:28	今の杉仲村さんは、すいません。
0:38:33	はい。規制庁仲村ですけど、私もちょっとそのところ、金今次だからってところを少し気になってるところがあってちょっと教えてもらいたいの、そこで
0:38:43	資料中でこの
0:38:50	地盤の支持性能に関わる基本方針のところ書かれてるっていう、
0:38:55	という説明なんですけどもちょっと教えてもらいたいの、その
0:39:00	極限周面、
0:39:02	摩擦力度の0.92というのは、これ、具体的に何か実験か何か試験をされて出てきた値っていうことなんでしょうか。
0:39:15	どういう試験をして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:17	出てきただけなのかってのはちょっと教えてもらいたいんですけど。はい。中国電力吉住でございます。岩盤につきましては、
0:39:25	岩盤の支持力試験とかブロックせん断試験をやっておりまして今回の場合は、ブロックせん断試験を、岩盤のところで、2号の、
0:39:35	当時の工認の時に行っております。その時の
0:39:39	江藤CM級の岩盤でのシートファイルが出ておりましてそのの
0:39:44	共同使っているというものでございます以上です。
0:39:50	わかりましたそれはあれですかね、基本方針の方に、
0:39:56	丁寧に説明されてるということですかね。はい。中国電力ヨシツグでございます。試検討のやり方等は、
0:40:04	もともと設置許可の方の資料に記載がありまして工認の方では、その値を書いているというものでございます。以上でございます。
0:40:14	はい、わかりましたありがとうございます。
0:40:16	規制庁の確認させていただきます。
0:40:20	規制庁の服部です。おそらく、
0:40:29	2番の申請に関わる基本方針のところにわあ、この0点。
0:40:34	Q2の導出式って多分載ってないんですよ。
0:40:39	なので今、おっしゃられたのはあくまでも岩盤の試験で、
0:40:44	$\tau = C + \Sigma \text{タンジェント}\phi$ がでますと、
0:40:49	一番簡単なのはCだけ見れば。
0:40:52	別にC面積かければ、Cがそのものが、
0:40:56	例えば、
0:40:57	周面摩擦力になったりもする可能性もあるし、ちょっとそこら辺ちょっと私も、
0:41:03	指針見てみないとちょっとわかんないんですけど、
0:41:05	ϕ がどういうふうに変ってくるのかちょっとわかんないんですけど。
0:41:09	そこに同質式を書いていただければ、これ明確になると思うんですけどね。いかがでしょうか。はい。中国電力ヨシツグでございます。私も言いましたのも羽鳥さんおっしゃる通り岩盤試験の
0:41:22	AとCとファイト田尾の関係式が書いてあるだけが、
0:41:25	ありまして、ここで、それを使ってどうやった周面摩擦
0:41:30	6度というものを書いているかっていうのは、地盤の申請の方には書いてありませんので、ここの中に、どうやってその地盤の支持性能のし値を使って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:41	応力度出したかと、そういった式をここに記載させていただけたらと思います。以上です。
0:41:47	規制庁の服部です。ここに書くということは、ここだけでしか使用しないってことなんですよ。だから、もしこの上位に書けば全部に
0:41:57	持ってけるんですけどここに書くことはその他にあっても持ってけないということなので、と思ったんでちょっと上位かなと思ったんですけど、ここにしか使わないんですけどしたりしたっけこの、
0:42:08	周面摩擦量極限周面摩擦力と、みたいなそういうし、この 0.92 っていうのは、
0:42:15	はい。中国電力の人見でございます。
0:42:18	このような、
0:42:20	杭構造で、押し抜き引抜きが出てくるような構造となっております。添付資料上での資料のものはこの仮設鋼材だけに今なっておりますので、
0:42:31	もし出て他に出てくれば、それぞれの補説の中で、説明をさせていただけたらと思っております。以上です。
0:42:39	規制庁のハツリですはいわかりました
0:42:43	今の説明は理解しました以上です。
0:42:51	規制庁の三浦ですけど。
0:42:55	局限周辺摩擦力度はここでしか使わないのかもしれないそれ以外します。
0:43:00	もうその辺りは岩盤のせん断強度を持ってきてるんですよ。
0:43:05	岩盤のせん断強度って大型を使って使ってるんじゃないですか。
0:43:10	それは書いてあるんですか。0.92 っていうのはどっか、
0:43:15	岩盤のせん断強度のところに出てきてる数字ではないってことなんですか。
0:43:24	マイクを通して、
0:43:35	はい、中国電力の首藤でございます。
0:43:38	ちょっと
0:43:41	整理いたしますと、地盤の恣意性の方につきましては先ほど言いました看板の、
0:43:47	ブロックせん断試験を行いまして、 τ っていうのが τ_0 プラスの
0:43:52	Σ のタンジェント ϕ という値が出てきております。で、使ってるのはそれをその式から持ってきてますっていうのが、ここに書いてありまして、
0:44:02	ここで使ってるのはそのファイルは使わずに、対買 θ だけを使ってるっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:09	多分上位の方でわかりにくいので、そこはこちらの方で倒れるだけを使っていますというのを書いたほうがいいのかという趣旨でございました。以上でございました。先ほどちょっと気になったのはねファイルも、
0:44:21	使ってるような話だったんで、そうじゃなくて多分せん断強度しか使っていないんだろうなと思ったので、
0:44:27	だからここで0.92から始めてくる数字で、これはそこでしか使ってこないっていうか、数字なんですね。先ほど言われたように少しここんとこ説明しといたらいいと思いますね。はい。
0:44:43	はい。規制庁寺井です。他、
0:44:47	はい、よろしいですかね。はい。
0:44:50	ではコメントについては了として今あったところについては拡充の方、お願いします。
0:44:56	はい、じゃあ、次の説明をお願いします。
0:45:00	はい。中国電力の早田です。それでは資料番号1-2ページ、
0:45:06	コメントNo.16、
0:45:09	BB断面のヒガシオガワ兄弟についてグラウンドアンカー、繁田師匠兄弟の荷重の伝達機構と設計の考え方を説明すること。
0:45:19	こちらと、コメントNo. 18。
0:45:22	B断面の東側の橋台について基礎地盤の滑り安定性及び構造の安定性の検討結果を説明すること、グラウンドアンカーの役割についても明記すること、こちらについて回答いたします。
0:45:36	回答につきましては、資料ナンバー3の188ページをお願いします。
0:45:50	通し番号188ページの参考資料9、教材費括弧東側の安定性について、
0:45:58	まず概要ですが、図に示します、仮設耐震構台のB断面の東側橋台については、手芸他との間に、支承部、
0:46:08	水平滑動支所を設置していることから、重田からのニシカワ方向の水平荷重が作用しないため構造部材を評価対象部位として選定しているが本検討は、京大の安定性を確認いたします。
0:46:23	なお、京大東側近傍のグラウンドアンカーについては、安定性の評価を含む、耐震計算において期待しないため、モデル化はいたしません。
0:46:33	189ページをお願いします。
0:46:39	189ページが、評価方針ということで京大東側の安定性評価は、橋台と地盤との水平方向の相対変位を算出し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:50	アクセスルートとしての通行性に影響を及ぼすような活動が生じないこと。
0:46:55	また、京大の基礎地盤に生じる最大接地圧が極限支持力度以下であることにより確認いたします。
0:47:02	190 ページをお願いします。
0:47:08	190 ページからが確認結果になります。京大東側と地盤との相対変位による評価結果についてです。
0:47:17	下の図に示す位置におきまして橋台と地盤の水平方向の相対変位を算定した結果を、下の表にお示しております。
0:47:28	水平相対変位は、0mmであり、アクセスルートとしての通行性に影響を及ぼすような活動の恐れはないことを確認しております。
0:47:39	191 ページをお願いします。
0:47:44	京大の基礎地盤の支持性能に対する評価結果になります。
0:47:49	基礎地盤の人性能に対する照査結果を、下の表にお示しております。
0:47:56	京大の基礎地盤に生じる最大接地圧が、極限支持力度以下であることを確認しました。
0:48:04	また、192 ページ。
0:48:07	の方にお示しております。最大接地圧、発生時刻における兄弟の
0:48:12	兄弟付近の地盤の局所安全係数分布図、
0:48:17	を見ますと、
0:48:19	岩盤は健全であることを確認しました。
0:48:22	以上が、コメントNo.16 とコメントNo. 18 の回答となります。
0:48:30	はい、尾藤チギラです。それでは、今のコメントNo.16 と 18 に対して確認する点ある方、お願いします。
0:48:39	規制庁の江寄ですが、コメン等は私が出したことなんですが、特段、
0:48:46	当然これ以上コメントがございませんでこれで結構です。
0:49:01	はい、きちっとチギラです。はい。ではこちらについては、
0:49:06	はい。この 16 と 18 については良ということではい。そういう発言があったというのは聞こえましたはい。
0:49:18	では、これに関連して確認する点ある方は、
0:49:25	規制庁の服部です。1 点だけ確認をさせていただきます。
0:49:30	今
0:49:32	191 ページ支持力原子力の調査をしてるんですけど、
0:49:36	この極限支持力どう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:39	今日、今日時ってというのは水平成層の無限は無限の水平成層のときの、
0:49:44	値を使ってるということで、
0:49:46	今回少し懸念されるのは片側空間だということなので、おそらく、上から荷重がかかれば、45° 方向に滑って、
0:49:57	落ちるっていうのが大体のこの破壊モードだと思いますね。
0:50:01	は、
0:50:02	45° 方向、45° 方向じゃなくてもいいんですけど、そういう滑りに対する評価に対しては、
0:50:10	この 192 ページで、せん断破壊をしていないということを見れば、それでわかるということによろしいんでしょうか。
0:50:22	はい。中国電力の高松です。今羽鳥さんにおっしゃっていただいた通りで極限支持力の評価だけで、そういった滑りのところを評価しきれないところを、
0:50:34	この 192 ページのせん断破壊のチェックでもって保管したつもりでございますので、ご意見いただいた通りだと思います。以上です。
0:50:42	規制庁のハツリですはいわかりました。私から以上です。
0:50:51	はい。
0:50:53	では、コメントNo.16 と 18 についてはよろしいですかね。はい。ではこちらについては了としまして、では、次の説明の方お願いします。
0:51:04	はい。中国電力の原田です。それでは資料ナンバー1 の回答整理表 2 ページの、
0:51:11	コメントNo. 17。
0:51:14	B断面の西側のM24Vの根入れ長についてモデル化方法、
0:51:21	評価方法、調査結果を説明すること。
0:51:24	こちらについて回答いたします。
0:51:27	回答につきましては資料ナンバー3 の
0:51:31	補足説明資料 194 ページ。
0:51:34	をお願いします。
0:51:43	はい、衛藤cページ 194 ページからは、参考資料 10 ということで、
0:51:48	置換コンクリートニシカワと、水平材及び斜材を接合するアンカーボルトの健全性についてになります。
0:51:57	仮設耐震鋼材のB断面の西側の置換コンクリートと、水平材及び斜材の接合部は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:04	図に示します通り、埋め込みアンカーボルト及び接着系アンカーボルトにより接合しております。
0:52:11	当該アンカーボルトは、水平材及び斜材の地震時の応答を、置換コンクリートへ伝達することから、解析モデルにおいて、
0:52:21	二重接点、MPC結合エース、鉛直及び水平方向によりモデル化しているため、基準地震動に対する健全性を確認いたします。
0:52:32	195 ページをお願いします。
0:52:38	195 ページ、評価方針ですが、アンカーボルトの健全性はアンカーボルトに発生する引張力及びせん断力に対して、
0:52:47	アンカーボルトの許容限界以下であることを確認いたします。
0:52:51	許容限界につきましては、各種合成構造設計指針同解説。
0:52:58	こちらを踏まえて 195 ページ下の表に示す通りの値といたします。
0:53:04	196 ページをお願いします。
0:53:10	196 ページに、確認結果をお示ししております。アンカーボルトの引張及びせん断に対する調査結果。
0:53:18	こちら、両方とも許容限界を下回っており、基準地震動に対する健全性を確認いたしました。
0:53:27	以上がコメントNo. 17 の回答となります。
0:53:33	はい、鶴田チギラです。それでは今の回答に対して確認するとある方お願いします。
0:53:39	宮崎ですけども、ちょっと事実確認してもらおうと、194 ページの図の 1、見ていただけますか。
0:53:47	財津郷拡大図ってありますよね。
0:53:51	そういう各フェーズの中で、
0:53:54	アンカーボルトが書いてあるんですがその上に、経営学科も、いわゆるこの置換コンクリートに、
0:54:03	お送りされてるんですけど、
0:54:06	受けたは、反力に対しては何も期待していない設計としてるってことで、
0:54:12	よろしかったです。
0:54:18	いわゆる納付方法のB断面の、
0:54:22	対兵力に対しても、基本的な関連は含みなんかで設置提案いただける、受けとめていると。
0:54:30	よろしいですね、近くの接合というのは、そういう設計としている。はい。中国電力の早田です。こちらの受け方については、
0:54:42	モデル化をしております、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:47	接点を共有しております。
0:54:50	で、こちらの、
0:54:54	西側につきましては、資料 3 の 26 ページを、
0:54:59	見ていただくと、
0:55:04	26 ページの一番上の図になりますが、
0:55:09	こちら、師匠ごとに固定稼働というのを記載しておりまして、一番西側は稼働支障になっておりまして、
0:55:17	こちら繁田の水平方向の慣性力がかからないような支障になっておりますので、
0:55:22	基本、こちらの受け方が抜けることはないと考えております。
0:55:34	基本的に設定する必要がないのであれば、埋め込みアンカーボルトも設計し、本当は本来必要なかったんで、
0:55:43	イットリウム開発だから、上部工納付圧力は、
0:55:48	影響ないとしても、
0:55:51	その下部のものに関しては、どういう設計してるのかって話ですよ。だから下部の慣性力の部分っていうのは、埋め込みカードだけで伝えてるわけじゃないんですよ。
0:56:03	いけた。
0:56:05	もう、もう一番受けて一番、
0:56:09	高さの高いところにあるから、基本的には倍ん荷重のバランスとしてはどうなんですかね、
0:56:16	さほど変わらないかもしれないけども、
0:56:19	この見込みなんかゴールされてる設計になってるんであれば、受けたのを、
0:56:24	何で引抜き力活動は何も期待しなくていいと思うんですけど、
0:56:29	どうでしょう。だから、受けたの例えば、
0:56:34	解析モデルから出てくる反力とアンカーボルトも昔てますよね。ちょうど比べてどうなんでしょう。それで、池田から見たときのこの周面。
0:56:46	落着ですか。
0:56:49	これ福嶋耕三させてるわけではないので、
0:56:53	そういった構造としてちょっと考えても、だんだん、だんだんしか問題ないと言い切れるような文章なんです。
0:57:06	はい。中国電力の高松です。すいませんご指摘の趣旨承知しました。こちらはアンカーボルトだけじゃなしにですね、一番西側のところの慣性力っていうのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:19	受けてげた受けたにもですね、掛かるようにモデル化はしておりますので、基本的にはアンカーボルトの方が弱部になるのでこちらの方で持っていれば大丈夫だと思ってるんですけどちょっとご指摘の趣旨を踏まえて確認させていただいて、
0:57:37	この受けたも健全で、問題ないってところを、5 か、確認してご説明させていただきたいと思います。以上です。
0:57:47	よろしくお願いします。
0:57:52	私からは以上です。
0:57:57	投げ込まこの子たちどうとして引き継ぎ受けば、前回の経営課って言ってたはずなんだけど、僕、忘れたんだけど、コメントしてから、
0:58:07	うん。CABRIとだけ。
0:58:09	ていうつもりになってる。受け方も含めてコメント出して詰めていたんだけど、
0:58:15	今回はアンカーボルトだけは回収したところで、了とさせていただいて、宮田に関してはまた新たに
0:58:24	記載してもらおうということで、多分大して大きく出てくるはずないと思うんで、その構台からすると、
0:58:34	なので、これ、
0:58:37	B型のに関しても、
0:58:41	追加することで、
0:58:44	上とか、ノダは適正化でも結構ですが、大きな課題にはならないと思いますので、よろしくお願いします。
0:58:51	はい。中国電力の高松です網羅的に必要な部材をチェックするっていう観点でアンカーボルトだけじゃなしに受けたも荷重を負担しているんであればっていう、ご指摘かと思いました。なので、
0:59:03	その部材についてもですね、健全性確認して結果をお示ししたいと思います。以上です。ほぼ、
0:59:15	規制庁のハットリです。もう1点だけ確認をさせてください今のところで、
0:59:20	ここの構造っていうのは、片側の柱だけで、
0:59:24	鉛直力、
0:59:27	に変えて、
0:59:29	ルー構造になっていて、おそらくこの受けたのところはもう、
0:59:34	これコンクリートDなんだろう、杭の代わりというか、
0:59:39	支障になってるような評価になっ
0:59:42	てる

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:44	ですよね。
0:59:45	解析上、
0:59:47	違いましたっけここ、ここって。
0:59:50	要するに片側の杭だけでは、おそらくもないので印直力に対して、
0:59:57	この
0:59:58	受けたの、例えば受けたのすのせん断とか、支持力コンクリート内部の支持力とか、
1:00:05	そういうところもあわせて、これは鉛直に対して保持するような構造になってると理解でよろしいですか。はい中国電力の早田です。こちらの受け方についても、解析上モデル化しております、
1:00:20	B断面の調査、
1:00:22	落ちたときに受けた。
1:00:24	も、評価対象部位に入っております、その受けたについてはこの三つの橋脚すべての受け方を見た中で、最大のものを、本編に記載しているところなので健全性は確認しております。
1:00:39	わかりましたから、通常杭が両側にこう二つついてると。
1:00:45	のが一般的な構造だけど、片側杭だけの方が受けた額みみたいな代わりになってるような構造になってるんで、それをひょ、それを踏まえた考慮した評価になってるということでよろしいですね。
1:00:58	はい。中国電力の早田です。おっしゃられた通りのご認識です。はい。以上です。規制庁の服部ですそれでその形態に対しても
1:01:08	その支持しgできるだけの強度を有していることもきちんと確認してるということでよろしいですよ。
1:01:16	はい。中国電力の早田です。ご認識の通りです。市長のハツリですはいわかりました以上です。
1:01:27	はい、土田です。他、よろしいでしょうか。
1:01:31	はい。
1:01:32	では次の回答の方お願いします。
1:01:36	はい。中国電力の早田です。それでは資料No. 1 回答整理表の2ページ。
1:01:42	コメントNo. 20、
1:01:45	アクセスルートの通行性の観点で且つ荷重に対する評価の考え方を説明すること、こちらについて回答させていただきます。
1:01:54	資料3の補足説明資料の67ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:06	補足資料の 67 ページですが、荷重及び荷重の組み合わせについての記載をしております。
1:02:13	道路業種褒賞の耐震設計編によると、かつ荷重の満載と地震が同時に発生する確率は一般に小さいこと、そして、仮に地震時に車両が表面上にあったとしても、
1:02:26	車両が橋野振動を抑制する効果がある。
1:02:30	こと等から、耐震設計上考慮すべき荷重とその組み合わせとして主荷重の打ち勝つ荷重及び、衝撃、
1:02:39	を除いた荷重と、中荷重を考慮することとしております。
1:02:43	一番下の段落になりますが、一方仮設耐震構台は地震後にアクセスルートとして使用することから、可搬型重大事故等対象設備の通行性について、
1:02:55	確認結果を参考資料 8 にお示しております。173 ページをお願いします。
1:03:10	173 ページからが参考資料 8 ということで、可搬型重大事故等対象設備の通行性についての資料となります。
1:03:21	仮設耐震構台は地震後にアクセスルートとして使用することから、可搬型重大事故等対象設備、
1:03:28	のうち、車両重量が最も大きい移動式、
1:03:32	代替熱交換設備、
1:03:34	418kN。
1:03:37	を上回る車両の 1800kNによる健全性を確認しました。
1:03:42	評価対象部位は、車両通行時に、最も厳しくなる重田のうち、主幹城野永井、東西方向の主げた円上 20 メートルを対象といたします。
1:03:55	175 ページをお願いします。
1:04:01	評価方法といたしまして評価対象部位である重田について、勝荷重として車両荷重の 1800kNを考慮した際の、
1:04:11	曲げ応力度及びせん断応力度の評価を行います。
1:04:16	表の方に重田の諸元をお示しております。
1:04:21	3 ポツ 2 で対象車両の諸元をお示しております。
1:04:28	177 ページをお願いします。
1:04:35	断面性能の算出ということで、
1:04:40	重田の断面性能を図の 6、
1:04:44	にお示しておりますAA断面からE断面及び支店分で算出することとします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:52	その下の 4 ポツ 2 の許容力度というところで、重田の許容力度の設定において、道路土工仮設構造物工指針を参照しまして道路供試褒賞、
1:05:05	公共変の許容力度を基準とし、これを 50%を割り増したものを適用いたします。
1:05:12	78 ページから 83 ページに、各断面性能を、
1:05:17	お示しております。
1:05:19	184 ページに、荷重条件の方をお示しております。
1:05:25	185 ページをお願いします。
1:05:30	185 ページが、照査ということで、185 ページ。
1:05:36	186 ページの方に曲げモーメントの評価結果と、せん断
1:05:42	力の評価結果をお示しております。
1:05:46	187 ページをお願いします。
1:05:51	評価結果のまとめということで評価結果のまとめを表の方にお示しております。
1:05:57	対象車両の勝荷重に対して許容限界以下であることを確認しました。
1:06:03	以上により地震後において仮設耐震鋼材の可搬型重大事故等対象設備通行時の健全性を確認いたしました。
1:06:12	以上がコメントNo. 20 の回答となります。
1:06:16	はい。規制庁、日浦です。それでは、確認するとある方お願いします。
1:06:24	規制庁の服部です通行時の評価をしてい。
1:06:28	したことについては
1:06:30	承知をいたしました。
1:06:32	何点か確認をしたいんですけど。
1:06:34	これ確かに、アクセスルートの目的だけに限定すれば、この可搬型でいいと思うんですけど、
1:06:44	これはあれですよね 18トンしかないんですよね。
1:06:48	だから基本的にとって 20 ゴトウれないってことになりますよね。
1:06:54	180トン。
1:06:55	180トンからこれ、あれ。
1:06:59	あごめんなさい 180トンですね、180 本もあるの。
1:07:04	逆に言うと、
1:07:09	中国電力のイハラですが 175 ページの車両の図をアノし、お示してますがこれキャッシュキャッシュ腔を積んだ状態のと、特殊トレーラーの授業では 180トンの
1:07:21	重量を設定してございます。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:26	規制庁の服部ですわかりましたかなり保守的な
1:07:32	勝鍛冶を載せているということですねごめんなさい。ちょっと私も、
1:07:36	kNだから少しちょっと頭の中で変換するときに、
1:07:39	ちょっと常識的に18トンかなと思ったので、ごめんなさい180トンとは思わなかったので理解をしました。
1:07:46	それでぎりぎりになってるってことですよね重田のね、評価がね。
1:07:51	許容許容応力度に対してはぎりぎりになってるってことですよね。わかりました。あと、これいろいろ今日、確認点が出たのでちょっとこれも追加していただきたいんですが、一般的に、
1:08:03	仮設構台とカー。
1:08:05	路面復興の評価をするときは、
1:08:08	受けたとかけた上の評価もするんですよね。今重田の評価しかしないじゃないですか。
1:08:14	受けたとか桁上の評価って簡単で、位置によるんですけど、下は真ん中にある時、
1:08:21	フェンダー化事故に遭った時で繁田の反力を下に集中荷重としてかけるみたいなそういうやり方もありますし、他の
1:08:32	もっと合理的なやり方があればそれもいい、それでもいいんですけど、
1:08:35	基本的に一般的な汎用プログラムで出している。
1:08:40	評価についてはここでも評価していただきたいと思っていて、具体的には受けた溶けた受けの評価もここに入れといておいていただきたいんですがいかがですか。
1:08:55	はい。中国電力の高松です。ちょっと、それについて言及させていただいたのがですね173ページの冒頭のところで書かしていただいているんですけど、
1:09:06	これの下から3行目のですね名を重田を支持する支障部橋脚部については耐震評価において評価対象部位として構造健全性を確認しているということで、
1:09:17	この今回網羅的に抽出した評価対象部位の中でですねこういった車両走行時というか、かつ下流によって設計がクリティカルに決まるっていうのが主げた。
1:09:27	だけだったもんでですね、今回シュシュゲたを対象とした評価結果っていうのを、ご説明させていただきました。で、受けた桁受けとか繁田を支持する部位につきましてはですね、基本的には地震時の慣性力であったり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:43	重田から伝わる荷重作用をこちらでもって設計が決まるということで、耐震評価の方で網羅させていただいているというのが今回の我々資料会社さん数でございます。以上です。
1:09:56	規制庁の服部ですそれについても少し聞きたかったんですけど。
1:10:00	杭についてもそちらの方で包括するということで書いてありますよね。
1:10:06	地震時の時の水平荷重に対する、
1:10:11	杭の押し込み力と、
1:10:13	上に 180tが乗った時の押し込み力って、
1:10:17	18トンならと思ってたんですけど 180トンなので、
1:10:21	どっちが厳しいんだらうっていうのが少しわからなくて、
1:10:25	真帆
1:10:27	地震力って水平力なので、
1:10:30	今回のは、鉛直力だから、
1:10:33	桁受け網。
1:10:35	受けたもう。
1:10:36	その水平力に対する、
1:10:41	何だろう。
1:10:44	応力等、
1:10:45	鉛直力に対する応力って多分どっちが大きいかわかんないんですよ。
1:10:49	一般的に仮設構台とか、路面服の評価をする時はあんま水平力のことには言及してなくて、鉛直力の活荷重に対してやってるので、
1:11:00	それぐらいはやっといた方がいいんじゃないかなという趣旨なんですけれど、いかがですか。
1:11:06	はい。中国電力の高松です。羽鳥さんのおっしゃっていただいたコメントの趣旨は承知しましたちょっとですね、持ち帰らせていただいて、どういった形で、
1:11:17	シュミレータ受けげたが車両走行時についても健全であるかっていうことを示せるかっていうのも含めてですね、ちょっと持ち帰って検討して、改めてお示したいと思います。以上です。
1:11:29	規制庁の服部ですわかりました。
1:11:32	重田が 100、ぎりぎりなので 180トンってちょっと膨大な、ちょっとかなり保守的な荷重ですけど、
1:11:39	上げたがおそらく

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:42	仮設の設計をしてる時ワーを受けたところだけ除け計算してると思うんですよね。それで仕様決めてると思うので、重田切りならおそらく受けた桁上もぎりぎりなので、
1:11:53	ちょっと確認だけしといていただきたいという趣旨でした。よろしくお願ひします以上です。
1:11:59	はい。中国電力の高松です設計の流れとしましてはおっしゃっていただいた通りで車両走行Gで守ってるっていうのを、
1:12:09	確認した上で、さらに耐震設計も追加でやってございますんで、その耐震設計で決まる部材っていうのはその部材は耐震設計で部材設計をしているっていう流れですので、
1:12:21	繁田、受け、受けた方受けであったりとかその辺の支持部材の方は、耐震の方で車両走行時を上回る荷重条件、荷重で設計が決まってるっていうのがありますんで、
1:12:35	車両倉庫は内数で含まれてると思ってるんですけど、ちょっとその辺り確認してですね、ご説明させていただきたいと思います。いいですか。
1:12:55	はい。承知しました。確認して、ご説明します。以上です。
1:13:02	はい。規制庁チギラです他ありますか。
1:13:06	ちょっとこれも確認だけなんですけど、今回 180トンということでおっきな車両を持ってきてるんですけど、実際にこの走行する
1:13:17	整理の車両の中の、ここで言っている移動式代替熱交換設備、
1:13:25	あと、リンパ球とかとすると、それでも隣家上を見ても、配置とか見ても、こちらの今の検討で網羅されてるっていう理解で大丈夫ですか。
1:13:44	はい。中国電力の高松です。江藤。今、吉良さんにおっしゃっていただいた通り基本的には網羅されていると思ってます。ただ今の資料の中でですね、熱交換器、設備とのですね、輪荷重ベースの比較とか確認その辺りが、
1:13:58	見えてないんで、そこもちょっと見える化して、ご説明したいと思います。以上です。
1:14:22	はい。はい。そのあたりはわかるような形ではい。特に、主招待なことはいいとは思うので。はい。その辺りはちょっと記載のご検討ください。
1:14:37	他、
1:14:40	はい。
1:14:43	ではすみません衛藤、次のコメント回答お願いします。
1:14:47	はい。中国電力の原田です。それでは資料番号 1 回答整理表の 2 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:55	コメントNo. 21 の学校全体の負担する荷重の考え方及び解析モデルの奥行き方向の設定方法について説明すること。
1:15:06	こちらについて回答いたします。
1:15:09	階段につきましては、資料ナンバー3 の 37 ページをお願いします。
1:15:25	37 ページからが、構造物のモデル化というところを記載しております。
1:15:32	2 段落目の黄色ハッチで記載しておりますA断面については、
1:15:37	Cv水平材及び斜材のモデル化にあたって、
1:15:41	38 ページの方にイメージ図をお示しておりますが、
1:15:48	奥行き方向 3 列の種類のうち中央の種類水平材及び斜材を対象とし、その重量を考慮するとともに、
1:15:56	一重部位が分担する奥行き方向の水平材及び所在の重量を支持杭の節点に付加質量として考慮します。
1:16:05	また、
1:16:07	支持部より上の受け方等の部材重量については、重田中央から繁田中央までの間の、
1:16:15	重量を奥行き 3 列の種類で負担するため、奥行き方向を考慮した支持具 1 本当たりの重量を剛梁上部に、付加質量として考慮します。
1:16:26	こちらが断面の奥行き方向の考え方になります。
1:16:31	続きまして 42 ページ。
1:16:33	をお願いします。
1:16:37	42 ページが、B断面の奥行き方向の考え方になりまして、B断面は、支持杭水平材及び斜材のモデル化にあたって 43 ページの方に、
1:16:50	イメージ図をお示しております。
1:16:53	断面同様奥行き方向一本当たりの剛性及び重量を考慮するとともに、40 位が分担する奥行き方向の水平材及び所在の
1:17:03	重量を主軸の節点に付加質量として考慮します。
1:17:07	また、受け方は奥行き方向一本当たりの剛性及び重量をモデル化します。
1:17:12	一方で東西方向においては、主事食いの、
1:17:17	国益方向米津に対して重田を 7 本設置していることから、重田のモデル化にあたっては、剛性及び重量を、4 分の 7 倍した。
1:17:26	線形はり要素でモデル化しております。
1:17:29	以上が、コメントNo. 21 の回答となります。
1:17:37	規制庁の植田です。これ私のコメントだったんですが、オク域に対しての考え方はわかりましたんでこれで結構です。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:48	はい、規制庁チギラ率。
1:17:50	コメントNo. 21に関連して確認する点、よろしいでしょうか。
1:17:57	はい。
1:17:58	それでは次のコメント回答お願いします。はい。中国電力の早田です。それでは資料No. 1 回答整理表の2ページ。
1:18:07	コメントNo. 22。
1:18:09	レーリー減衰の設定について、減衰定数が3%程度となっていることに関して考察して説明すること。
1:18:17	こちらにつきましては、資料番号3の補足説明資料171ページ。
1:18:28	ご説明いたします。171ページ。
1:18:33	が、参考資料7、営業、減衰定数の設定についてということで解析モデル全体に設定するレーリー減衰については、
1:18:41	道路供試褒賞、
1:18:43	耐震設計編に示される橋脚の減衰定数3%を参照し、
1:18:50	仮設耐震構台の減衰定数を3%とした固有値解析結果を踏まえて設定しております。
1:18:57	一方で上部構造については減衰定数2%と示されていることから、減衰定数を変更した場合の影響確認を実施いたします。
1:19:08	確認結果、
1:19:10	ですが、仮設最新構台の鋼材の減衰定数を3%とした場合と、2%とした場合のレーリー減衰における係数 α β の比較を、
1:19:21	172ページの表にお示しております。
1:19:25	李現在の
1:19:28	グラフを図の方にお示しております。
1:19:32	減衰定数を変更した結果、影響は軽微であることを確認したため仮設耐震構台の鋼材、
1:19:39	の減衰定数を3%として耐震性評価を実施することといたしました。
1:19:46	以上が、コメントNo. 22への回答となります。規制庁大橋です。
1:19:53	これは
1:19:54	以前のヒアリングで1回説明してもらって、それ一で追加で何かやっていうわけじゃなくて、報告書の中に盛り込みましたという理解でよろしいですか。
1:20:10	はい。中国電力の高松です。おっしゃっていただいた通りですきちっと補足説明資料の中に組み込んで、ご説明させていただいたということです。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:21	規制庁大橋です。
1:20:23	東條の木を聞いたかったのは、172 ページの、
1:20:28	レーリー減衰と、
1:20:29	固有値解析のモーダル減衰のプロットの関係の話で、
1:20:35	上の方の
1:20:37	AA断面の方で、
1:20:40	6 次モード 10 次モードあたりのプロットが、減衰 1%とか、
1:20:46	それよりも小さい数字で、何か気になったっていうのが発端なんですけど。
1:20:52	これは
1:20:54	構台を 3%から 2%に変えても、変化ないみたいなので、影響なかったっていうことと、
1:21:02	そもそも 60 ページに、3%の場合の、
1:21:06	固有値解析結果があって、
1:21:10	有効質量比がそれほど、
1:21:14	大きくないというか小さい。
1:21:17	6 次 10 次モードなので、か。
1:21:20	解析上は関係ないということで理解しました。以上です。
1:21:32	はい。規制庁吉良です。他、よろしいですかね。
1:21:36	はい。
1:21:37	ではコメント 22 については、良ということといたします。
1:21:43	では、
1:21:44	追加で説明とありますか。
1:21:48	はい。中国電力の高松です仮設耐震構台につきましてはございません。以上です。はい、わかりました。仮設退勤構台について全体として確認する点がある方お願いします。
1:22:05	規制庁の服部です主に記載になりますけれども、何点か確認をさせていただきます。
1:22:16	まず
1:22:17	46 ページをお願いします。
1:22:29	前か
1:22:31	もあったんですけど、支障分が稼働なのか固定なのかっていうのが、一つのポイントになっていて、
1:22:39	その話が 48 ページにモデル化の中で記載されてる。
1:22:44	ということなんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:46	ここまで来ナイトウかどうか支障固定化ってわからないんですよね。
1:22:54	通常橋の図面のを作るときに、
1:23:00	上にこうかどうか支所かって書いてあるんですよ図面ところに、どっちか というと0mとか0fって書いてあるんですけど、
1:23:08	なのでちょっと
1:23:11	46 ページのこの図のところ、カー、もしくはもうその前でもいいんですけど、 この日全体像というところに、
1:23:22	0fとかもRmでもいいの角岡氏、固定化っていうところをちょっと明記して いただけないかなと思ってます。
1:23:30	D0F0mって書くとまたそれって何ってなるので、その場合は凡例つけて いただければと思うんですけど、いかがですか。
1:23:39	はい。中国電力の早田です。こちらにつきましては一部の図にしか、 水、かどうか固定かというところを下記載しておりませんので全体に、
1:23:50	わかるように記載したいと思います。以上です。
1:23:54	規制庁の服部ですわかりました。
1:23:56	それと48 ページのところ、
1:24:03	エヌ・ピー・シー高速のフリーの方向が記載されてるんですけど、
1:24:09	これ回転は、
1:24:11	これフリーだということよろしいですか、いわゆるこの、
1:24:15	桁は単純ばり。
1:24:17	として評価してるということよろしいですか。
1:24:22	これあれでしたっけ高速のところだけ書いてるんでしたっけ、水、この図 の3-13 っていうところ。
1:24:29	だから書いてないところは、
1:24:31	不利だっけというふうに読めばいいんですかね。
1:24:34	はい。中国電力の早田です。ご理解の通りでございます。
1:24:39	規制庁の服部ですわかりました。
1:24:44	86 ページ。
1:24:46	ちょっと86 ページ
1:24:49	具体的ではないんですが86 ページをお願いします。
1:25:02	規制庁の服部です86 ページはちょっと違うんだけど、
1:25:10	今回支障部と呼んでるところっていうのは、
1:25:14	実際の端の支障とは少し違う。
1:25:17	ていて、
1:25:21	主げたかけ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:23	受けた桁請けかわかんないんですけどそのフランジか何かを切り換えて、
1:25:28	その切り換えたところ 2 切欠幅があってその切欠幅にかちっとはめていて、桐原池、木原大きくしてるところは、ガシャガシャと横に動く。
1:25:40	契約関係幅が小さいところはその切欠幅でガチンと止まるというような構造になってる。それを死傷部と呼んでるというふうに理解してるんですけど。
1:25:49	それでよろしいですか。
1:25:53	はい。中国電力の早田です。先ほどの説明、ご説明いただいた内容で一部、
1:26:00	ちょっと認識違いがございまして、
1:26:04	切りかけ自体の大きさ、切り、切り欠き自体、ソーラープレートの大きさ自体は一緒になるんですけど、
1:26:12	そうですね、26 ページを見ていただくと、
1:26:21	固定と稼動両方ともソウルプレートは同じものがついておりまして、
1:26:27	周ざーについてます赤いブロックみたいなものの大きさの違いによって、固定の方が大きくなっておりますので、そこがソウルプレート、
1:26:40	に
1:26:42	間干渉してといいますか、そこで動きを止めているという構造になっております。支障部と呼んでおりますのは、
1:26:49	ソウルプレートとその下の赤で示しております、中座の部分を支承部と呼んでおります。以上です。
1:26:59	規制庁の服部です何。
1:27:02	だから、そうですねだから、
1:27:04	この走路プレートと周座を合わせて支障部と呼んでるってことですよね。
1:27:10	で、ソウルプレートのう。
1:27:13	今日限界が 120 ニュートンd。
1:27:17	支承部の今日限界が 150、せん断ですけど、150 ニュートンって書いてあるんですけど、
1:27:24	これは
1:27:26	どういうメカニズムの荷重がかかってどういう応力が発生し、せん断応力が発生したときに、その 120 と 150 をこれ、
1:27:36	使い分けてるって理解すればいいんですか。そこはちょっとわからなかったの。はい。中国電力の早田です。まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:44	層理プレートの
1:27:46	許容限界につきましては
1:27:50	繁田が、26 ページで言いますと重田側の、
1:27:54	今日軸方向に動いた際に
1:27:57	切り欠きの、出っ張ってる部分。
1:28:01	が、せん断して壊れることがないかっていうのをまずソウルプレートの方は確認しております。
1:28:07	一方で周theーアノせん断っていうのは
1:28:12	強軸直行方向に、重田が触れた時に
1:28:16	中座の赤い部分が剪断しないかっていうところを確認しております。以上です。
1:28:24	規制庁の服部です。20、
1:28:28	これあれですかね主げたと、ソウルプレートわーボルトでしっかり固定されて、がっちり動かない。
1:28:40	120 ニュートンのソウルプレートの応力評価をするときは、
1:28:45	図 2-7 の(2)の右側、
1:28:49	これは稼働方法にガチンで動いたときに、この引っかかっているところにガチンと当たって、
1:28:54	その当たったところに発生するせん断応力に対して評価してるってそういうイメージですか。中国電力の早田です。
1:29:02	せん断の詳細について固定支承の場合を調査しております。稼働についてはこのソウルプレートのきっかけの範囲の中で、
1:29:14	動く変位量だっということを確認しておりますので、こちらのソウルプレートに稼働方向の層理プレートについては、調査をしておりません。以上です。
1:29:23	規制庁の服部です。そうすると固定支承のところの、このソウルプレイ左側のソウルプレートってさしてるところ。
1:29:31	この一面せん断というか準センターに対して 120 ニュートンで評価してるっていうことでよろしいですか。
1:29:37	はい。中国電力の早田です。ご認識の通りです。
1:29:43	規制庁の服部ですはい。理解をしました。
1:29:47	で 150 ニュートンに対してはこの赤い方ですね教育直角方向に対してこの赤色の仙田豊線ダーン応力に対して評価をしているということだというふうに理解をしました。
1:30:00	これ曲げっていうのは、どのような荷重に対してどういう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:06	曲げが発生することを想定してるんですか。
1:30:09	はい。中国電力の早田です。曲げについては
1:30:14	この重田が教授区直行方向に振れた際に、
1:30:18	首座。
1:30:20	縦に、
1:30:22	何ですかね。
1:30:25	桁受けから重田の方に伸びてますのでそれに対して曲げで破壊することがないかっていうところを確認しております。以上です。
1:30:36	収座は
1:30:38	平和平板として、受けた2ボルトで固定されてるんですよ。
1:30:45	この収蔵って書いてあるところ、その上に書いてある、少しよう、
1:30:49	ソウルプレート間出るかんでるところのこの、このあいだのところにモーメントが発生するってそういうイメージですか。江藤中国電力の早田です。はい。ご理解の通りです赤い部分がもう一体となっておりまして、周座というふうになっております。
1:31:06	以上です。
1:31:07	規制庁の服部ですはい。わかりました。
1:31:12	四肢支承部については理解をしました。
1:31:15	次に
1:31:18	161 ページお願いします。
1:31:25	これは記載だけなんですけれども、これは05番のところにもうもあれですよ断面力が出てるんですよこれだと、これって、
1:31:34	郷原を5倍として見てなくて、大きな剛性入れてるんで断面が出ちゃうっていうことでよろしいですか。
1:31:43	はい。中国電力の早田です。ご認識、今ご説明のあった通りでございます。以上です。
1:31:51	規制庁の服部ですわかりました。なんかそれ少しどっかに書いといてもらった方が、なぜ5倍のところにも断面力が出てるんだろうって思うので、
1:32:02	それは少し追記、注記か何かしていただければと思いますがいかがですか。
1:32:09	はい。中国電力の早田です。承知いたしました。
1:32:13	規制庁の服部ですわかりましたこれってあれですよ消せないんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:20	メカニズムプログラム上、儲けせたらわかりやすいかなと思ったんですけど消せないんであればちょっと注記の方で対応していただければと思いますどちらでも結構ですのでよろしくお願いします。以上です。
1:32:33	はい。中国電力の羽田です。こちら非表示にすることも可能ですので、はい。ちょっと。
1:32:40	検討します。はい。以上です。
1:32:51	はい、規制庁チギラほか全体通して確認する点ありますか。
1:33:04	よろしいでしょうか。
1:33:06	よろしければ、
1:33:08	退勤仮設構台については以上といたしまして、では、次の1防護施設のコメント回答についてお願いします。はい。中国電力の高松です。BCの溢水につきましては、広島側からコメント回答1件させていただきます。それでは、広島からお願いします。
1:33:30	はい。中国電力のサダタニです。私の方から、資料ナンバー4から6を用いまして、浸水防護施設の耐震計算書のコメント回答をさせていただきます。
1:33:43	まず、資料ナンバー4-2ページをお願いします。
1:33:51	こちらのコメントNo.9についてご回答します。
1:33:57	こちら内容を読み上げますと、非常ろ過水タンク等の溢水影響の確認の内容について、調査値算定のプロセスを説明することといたしております。
1:34:09	回答としましては照査値算定のプロセスとして許容限界の設定、評価対象部位の考え方及び照査値算定箇所を整理いたしました。
1:34:19	まず資料の資料ナンバー5-5ページをお願いします。
1:34:28	まず非常ろ過水タンクについてです。
1:34:32	こちら黄色ハッチでお示しの通り、非常ろ過水タンクの屋根側壁及び底盤は、構造物全体としての安定性確保の評価をした上で、溢水影響の確認を行います。
1:34:46	構造物全体の安定性確保の評価範囲は、屋根、側壁及び底盤のすべての範囲を対象とします。溢水影響の確認はその部材のひび割れからの漏水が、水量検討に影響をおよぼし得る範囲を対象といたします。
1:35:03	7ページをお願いいたします。
1:35:07	こちらの図3ポツ1-7、評価対象部位のところに、
1:35:13	評価対象部位の具体的な範囲をお示しております。
1:35:17	続いて、同じ資料の34ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:25	こちら、和田に貯水槽西側についてでございます。
1:35:29	こちら先ほどと同様に黄色 8Gでお示しの通り輪谷貯水槽西側の長伴、側壁、隔壁及び底盤。
1:35:38	は、構造物全体としての安定性確保の評価をした上で溢水影響の確認を行っております。
1:35:46	36 ページをお願いいたします。
1:35:50	こちらに評価対象売りの具体的な範囲を図 3 ポツ 2-6 としてお示しております。
1:35:58	続いて 54 ページをお願いいたします。
1:36:05	最後に、和田委員女性層東側についてです。
1:36:09	こちら黄色ハッチで同様にお示しの通り輪谷貯水槽東側の側壁及び底盤は、構造物全体として安全性確保の評価をした上で、いす影響の確認を行っております。
1:36:22	こちらの具体的な範囲を、56 ページ、
1:36:26	この図、3 ポツ 3-6 にお示しております。
1:36:31	続きまして資料No.6。
1:36:33	通しページの 89 ページをお願いいたします。
1:36:44	こちら補足説明資料になってございまして非常用ろ過水タンクの断面力図をお示しております。
1:36:52	こちら庄田算定のプロセスのわかりやすさの観点から、詳細位置を図中に追記いたしました。
1:36:59	続いて通しページ 94 ページをお願いいたします。
1:37:08	こちらの技術力系の破壊に対する評価のうち溢水影響の確認を実施したものでございまして、前回は照査値のみをお示しておりましたので、その調査算定のプロセスがわかるよう断面力図を追記いたしました。
1:37:23	なお輪谷貯水槽西側と東側につきましては曲げ軸力系の破壊を、限界ひずみにより評価してございまして、発生ひずみの時刻歴、
1:37:33	であったり全時刻発生ひずみの発生箇所、
1:37:37	構造物全体の安定性の評価及び溢水影響の確認の両方ですでお示しておりますので、こちらに構造物については追加事項はございません。
1:37:48	説明は以上になります。
1:37:52	はい、吉浦です。コメントこの 9 については私のコメント等として、回答内容についてはこの内容で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:01	いいかと思えますので了といたします。ちょっと言ったときちょっと確認したいのか、へと。
1:38:08	資料の6の、
1:38:10	最後の方に説明があった。
1:38:12	95ページなんですけど、
1:38:15	ここで、この時は、曲げ軸力系で、実影響の確認のところ、
1:38:24	この95ページの小斉木っていうのがここに、この位置を示しているっていうのは、これは、
1:38:34	考え方としては、
1:38:38	その溢水量検討に影響をおよぼし得る範囲っていうのがここだからっていう古藤なのかどうかの確認なんですけどちょっと、はい。そこについて説明をお願いします。
1:38:51	中国電力のサダタニです。こちらの底盤全体を見たときのコンクリートの許容応力度に対する調査を行った際に
1:39:01	照査値が最大となった位置をお示しております。
1:39:06	以上です。
1:39:12	規制庁、池田です。江藤、芸の最大のところじゃなくって今の市野所のほうが厳しかったという理解ですか。
1:39:22	中国電力のサダタニですJRさんのご認識の通りでございます以上です。
1:39:47	はい。
1:39:48	はい。確認はできましたはい。ここで照査値最大が出てるとちょっとやっぱり断面力くうの関係からちょっとここだけイレギュラーなの。
1:39:58	ていうのがですね、ちょっと気になったので、その辺が、
1:40:02	わかれば、注記とか補足いただければと思います。
1:40:06	はい。中国電力の高松です。アノShareの趣旨は承知しました。この95ページの面等だけがですね、ご指摘いただいた通りイレギュラーになりますので、何らかわかるような記載を追記したいと思います。以上です。はい。
1:40:21	わかりました。
1:40:22	はい。
1:40:24	ではコメントNo.9について私は以上で菅ほか、加来。
1:40:28	急に関連して確認するってある方いらっしゃいますか。
1:40:32	よろしいですかね。はい。
1:40:34	では※補説明は以上でしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:38	はい。水源としないBCクラスの機器の耐震性計算書関係のご説明は以上になりますので。続きまして最後計算機プログラム、あ、すいません
1:40:52	ヤマダ、ちょっと薄井のところですねちょっと何点か確認させていただきたいと思いますので、はい。確認する点の方お願いします。
1:41:03	規制庁の服部です 2点ほど事実確認をさせていただきたいと思います。
1:41:07	まず一つ目は、5、
1:41:09	5ページじゃなくていいんですけど、これ全体的に関わるんですけど、
1:41:14	この止水性とか貯水性の評価をするときに、
1:41:18	降伏モーメントを使ってる。
1:41:21	施設等。
1:41:23	鉄筋の降伏ひずみとか、ひずみ計で調査してる。
1:41:27	施設があるんですけど、
1:41:29	この9区分けとか使い分けっていうのは何かルールみたいなのが決まっ。
1:41:35	出るんですけど。
1:41:37	どういう使い分けをしてるんでしょうか。
1:41:42	中国電力のサダタニです。こちら、それぞれの構造物のモデル化方法によって、
1:41:51	今日限界を設定しておりますまず非常ろ過水タンクにつきましては、
1:41:57	モデルを3次元シェル要素で、
1:42:00	線形のシェル要素でモデル化しておりますのでひずみが出てきませんので、応力度、
1:42:05	降伏曲げモーメントであったり短期許容力度による評価を行っておりますので、
1:42:11	和田院長清掃西側と東側につきましては、ファイバ様子を、
1:42:16	モデル化を行っておりますひずみが出てきますので、その調整機能に応じた農業限界としてひずみをせず、和泉によって調査をしているというところですので以上です。
1:42:29	規制庁の服部ですわかりました基本はひずみでやっている、ということですね。
1:42:34	ひずみが出てこないものについては
1:42:37	方面隊力とかモーメントとか、塗布モーメントとかそういうものを使っているということで理解をしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:44	あともう1点89ページお願いします。
1:42:54	ごめんなさい6-89ページお願いします。
1:42:57	ちょっと少し気になったので確認をさせてください。
1:43:01	これもせん断応力図分布図がほぼほぼゼロになってるということで、おそらくマグマ下卓越の時刻を選定しているので、せん断力が小さくなるということは理解を質問。
1:43:18	自重とか積雪荷重とかかかっているの長伴にはですね。
1:43:25	0になるって、なかなか水ん中中高、
1:43:31	ピンとこないんですけど、ここって、
1:43:33	なぜ0になるか1度になるかっていうのは何か。
1:43:37	考察をして確認してますかっていうのを確認させてください。結果的に、
1:43:44	解析ミスとか照査ミスとか、なければそれで結構なんですがいかがでしょうか。
1:43:54	中国電力のサダタニですこちらのせん断の断面力長谷ダム力につきましては、補助確認して、
1:44:04	考察をちょっと記載させていただきたいと思います以上です。
1:44:08	規制庁の服部です。考察を記載する必要ありません。
1:44:14	これは結果なので、何でかっていうのは関係なくて、間違っていなければいいということなので、間違っていないことをきちんと考察をして確認してますかっていうことだけなので、
1:44:27	これで正しいんですということを確認しておいてください。よろしいでしょうか。
1:44:33	やはり中国電力のサダタニですそのようにさせていただきます。以上です。規制庁の服部ですはい。わかりました。
1:44:41	私から以上です。
1:44:54	ちょうどその、
1:45:28	はい、橘田チギラ飯塚ほかに全体、
1:45:32	三井関係で確認する点ある方。
1:45:35	仲村さん。
1:45:37	規制庁仲村です。すいません、確認で1点だけちょっとお願いします。資料の、
1:45:45	6の、
1:45:46	9ページの図なんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:50	ちょっと考え方のところだけ教えてもらいたいんですけど、資料 9 ページのところですね、図の 1-3-3 を見てると、せん断聞いて、底盤のところ、
1:46:02	書かれてるんですけども、評価の上では、全く
1:46:08	事業者の考えのところではこのせん断機っていうのは何も絵とかには入ってきてないんですけども、
1:46:17	これって、
1:46:18	考え方のところで確認ですけども、やっぱり何か効果というのはあるんだけども、評価上は何か無視してるとか何かそういうことだということですか。
1:46:30	いかがですか。
1:46:34	中国電力のサダタニです。こちら、せん断機のまず評価についてなんですけども、まず
1:46:44	せん断機があることによる荷重、
1:46:47	生じる荷重につきましては、応力解析のところでは考慮しております。
1:46:55	で、せん断機、前面の底盤部につきましては、照査のところ、別途、
1:47:04	調査をしております。その上で、最大となった調査結果、
1:47:09	このところ底盤部の調査結果にお示ししてございます以上です。
1:47:17	すいません規制庁仲村ですけども、瀬この資料中では何かあまりこう評価されてるように記載されてなかったと思うんですけどその応力とか他の資料上では、
1:47:30	評価して検討されてるっていうことでしょうか。
1:47:38	中国電力のサダタニですご認識の通りでございます。
1:47:42	以上です。
1:47:44	はい、わかりました。すいません。他の資料ちょっと見ミイれてなかったんでこの資料だけで判断してました。失礼しました。
1:47:52	私からは以上です。はい。中国電力の高松です。ちょっとこのせん断機についてはですね、ちょっと一部記載を言及させていただいてるところがございまして、
1:48:06	7、7 ページのですね、構造概要のところですね、この位置付けをちょっと記載しております。中盤中段ぐらいのですね底盤についてはくだりのところなんですけれど、その 3 行目ですね、底盤地盤間の水平方向の最大反力のうち、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:23	せん断機負担分の荷重を算出し、1ポツ6の応力解析の3次元FEMモデルにおいて、荷重として考慮するというので、このせん断機自体が受ける荷重というのは、適切に
1:48:37	応力解析側に引き継いでおりますので、ちょっと補足させていただきます。以上です。
1:48:44	はい。規制庁中村ですご説明ありがとうございました。
1:48:52	はい。規制庁日浦です。他、水関係。よろしいでしょうか。はい、では次の説明をお願いします。
1:49:01	はい。中国電力の高松です。それでは解析コードにつきましても広島側から説明させていただきます。それでは、広島からお願いします。
1:49:13	はい、中国電力志水です。それでは資料ナンバー8番を用いまして、解析コードファイナンススター2の概要について、前回のヒアリングで、
1:49:23	承りましたコメントに対しての回答をさせていただきたいと思えます。
1:49:28	こちらの方では、20、資料番号8番、
1:49:33	20、
1:49:35	5ページ、24ページをお開きください。
1:49:45	こちら前回のヒアリングでもお示しておりますが、ファイナンススターの解析結果と、マージ実験を再現した解析結果と実験結果を比較して、
1:49:57	ご説明をさせていただきました。その際、こちらの赤線、解析結果とグレーの実験結果について、少し離れているところがあるというところでの考察を、
1:50:08	もう少し記載をするようにということでコメントをいただいております。
1:50:13	今回その考察を記載、
1:50:15	考察しまして記載をして参りましたのでご説明させていただきます。
1:50:20	ページ戻りまして22ページの方、お願いいたします。
1:50:27	こちらでは、コメントを踏まえましてまず、解析行動一スタート。
1:50:33	による、解析結果と実験結果の比較に加えまして、多数の時適用実績のある解析コードCOMⅢを用いた解析結果と比較するというのを今回実施しております。
1:50:48	24ページをお願いします。
1:50:53	こちらでは、先ほど申しました通り、一スタート実験の結果をお示しておりますが、こちらグラフの下の方にですね考察を追記してございます。
1:51:03	まず、荷重変位関係につきましても、概ね一致しているというところがございますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:09	表、グラフの中の第 1 折れ点のところ、曲げひび割れ発生時点、この辺りの荷重で、
1:51:17	解析結果、
1:51:18	解析値が、実験値を上回るという差異が発生しているというところにつきまして考察を記載しております。
1:51:26	25 ページをお願いします。
1:51:30	考察としましては大きく 2 点記載させていただきます。
1:51:33	まず 1 点目につきましては、
1:51:36	要素、こちらの非線形ソリッド要素につきまして、一次要素というものを 用いておるんですけども、こちらの特性としましては
1:51:47	部材の変形が生じにくく、体力が大きくなる傾向にある、出やすいということが あるため、そのあたりを記載させていただいております。
1:51:57	あとは、2 点目としましては、こちら 25 ページの上から三つ目の段落の ところになりますが、
1:52:05	今回の実験につきましては、原子力発電所屋外重要土木構造物のマニ ュアルの方に記載されている江藤、この部材係数設定モデル、
1:52:17	用いてる引張強度、
1:52:19	絵になりますけれどもこちらは、24 ページのほうに記載しております通 りの、表 3-6 に記載しております通り、3.7 となっておりますけれども、
1:52:31	一方で、こちらの圧縮強度 45.3 となっておりますが、
1:52:37	これをもとに、コンクリート標準示方書に記載されている引張強度の算 定式に基づき、算定いたしますと、2.92 となりまして、
1:52:47	一般的に考えられる引張強度より少し高めの引っ張り強度というこ とで、こちらの解析を物性値の方設定。
1:52:56	しております。
1:52:58	この辺りで、実験と解析の結果の方の乖離が生じているものと考え、
1:53:05	考察をいたしております。
1:53:09	そこでということですけども 20、1 のポツのところコムツリーによる解 析結果との比較をさせていただいております。
1:53:19	20、
1:53:21	6 ページをお願いいたします。
1:53:24	こちら、解析結果の比較となっております、赤線でファイナンススター の解析結果、青線でコムズ飯野解析結果ということでお示してござ います、
1:53:34	こちらの方につきましては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:36	概ね一致傾向としては一致しているということを確認してございます。
1:53:42	このことをもって、アノ非線形ソリッド要素の解析の適用性というところは
1:53:48	あるというふうに確認したというふうに記載をさせていただいております。
1:53:54	それと、ご意見、前回のヒアリングでのコメントがございましたので、
1:54:01	こちらの対応についてご説明いたします。3 ページの方、お願いします。
1:54:10	こちら、ファイナンススターのコードの、あと、検証及び妥当性確認ところで、
1:54:16	この実績、コードの実績について記載をしてございます。
1:54:22	前回は福島第 1 の建屋の水素爆発後の耐震性確認というところのクロスチェックの解析結果というところを、
1:54:33	お示しさせていただいておりましたが、
1:54:36	一応損傷を受けた部材に対する解析であるというところで、利用実績としてこちらに記載するのは、
1:54:45	違うのかなというところのお話がございましたので、
1:54:50	こちらに記載のある実績の方を記載させていただいております。
1:54:56	ご説明としては以上になります。
1:55:02	はい、スギタチギラ率、それでは今の説明に対して、確認する点がある方、お願いします。
1:55:17	規制庁の三浦です。ご説明の内容を理解しました。むしろポイントは、24 ページで出ている実験結果と赤線、解析結果初期の段階は引っ張り強度の差。
1:55:32	等
1:55:34	一次要素用いてるってところ出てきて後半の方の差ってのはこれ鉄筋のひずみ効果とかそういうことが出てって理解でいいですか。
1:55:46	中国電力清水です。はい。断面航空につきましてはおっしゃる通り、鉄筋の航空になりますので、その辺りが関係しているとその後、その後あれですよね赤線、解析結果伸びてってますよね。これは、
1:56:02	何かあれでしたっけ。共同で張り値で置いておいてんじゃないでしたっけ、鉄筋。
1:56:09	中国電力清水です。そうですね。ただし、
1:56:13	バイリニアではあったと思うんですけども、ちょっと伸びていってるのが、
1:56:18	はい、ひずみ効果とかいろいろそういった効果もあるとは思いますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:23	はい。ただこちらの方につきましては
1:56:27	実際の耐震、防波壁でこのコードを用いておりますけども、
1:56:32	江藤、この辺りの領域までは、入っていないということを確認してございます。以上です。次検査課だけでの比較じゃなくて、
1:56:43	公務Ⅲとの比較もやってほとんど載ってるので、この部会設計上の
1:56:49	解析コードの妥当性っていうのVerificationはとらえたというふうに理解しました。はい。私から以上です。
1:56:59	はい、規制庁チギラズ他、
1:57:02	ありますか。
1:57:11	すいません、特に
1:57:14	ファイナンススターで今回一次要素を使ってるってことなんすけど、二次要素が、
1:57:21	あるのかどうかって特にこいつではないんですけど、
1:57:27	そういうのとあと、COMⅢ、今回のこのツリーとにかくは瘤Ⅲ每期様相を聞いたKYCOMツリーの解析結果ってあるんですけど、
1:57:40	このⅢ、
1:57:42	もう、これまで先行でやっているのは一次予想だったのかっていうところの、ちょっとその確認だけを殊、
1:57:50	わかれば、
1:57:52	教えてください。
1:57:56	中国電力清水です。すいません二次要素の方につきましては、確かあったと思うんですけども、
1:58:04	これちょっと最後、確認を。
1:58:06	しとったところの下思い出せないんですけども、申し訳ありませんもう1点の方の方が少し聞き取れなかったんで、もう一度お願いしてよろしいでしょうか。エムスリーの方は、
1:58:19	ホースリーと比較して小松李も一条層を使ってるってあるんですけど、
1:58:24	これまでCOMⅢでやられた先行のやつ、評価とかも、一次を使ってたのかな、どうなのかなっていう。
1:58:33	確認ですが、
1:58:36	当中国電力清水です。資料を見る限りは、
1:58:41	一時であったかなというふうには記憶してございますが、ちょっと申し訳ありません。確認が取れた、はい。はい。大丈夫です答弁一次を使ってるんだと思いますのはい。特に必要ないかと思えます。はい。
1:59:01	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:05	他、
1:59:08	よろしいでしょうか。はい。では解析プログラムについては、
1:59:15	はい、以上といたしまして、
1:59:17	全体として、
1:59:20	規制がないですかね、中国電力から何かありますか。
1:59:26	はい。中国電力、高松です。弊社側からもございません。以上です。はい、わかりました。それではすいません。はい。
1:59:34	仲村さん。
1:59:35	すいません規制庁仲村です。すいません 1 点だけ手短かにですけども、ちょっと逃しちゃったんですけど仮設耐震構台の方の、
1:59:45	ちょっと戻るんですけども、資料の
1:59:49	16 ページ。
1:59:52	記載だけなんですけども、
1:59:57	等の 16 ページで、2 パラ目のところですね。
2:00:02	評価対象断面の選定のところで、2 パラ目のところ、
2:00:07	断面及びc断面の時、断面を評価対象断面としてって書かれてるんですけども、
2:00:13	ここにこうなんで断面、
2:00:17	選んでるっていう理由を追記できないでしょうかっていうところなんです。さらっと書かれてるんですけど、何かっていう理由が書かれてなくて、
2:00:28	その下のす。パラのところですね、特になんですけども、次のパラのところはB断面とD断面があってそれを
2:00:38	B断面を選定してるっていうここはすごい丁寧に説明されててわかりやすいんですけど、余計にこう差があるように見えてしまうんで、
2:00:48	2 パラ目の、Cのところのところですね、理由を書けないですかという、か、お願いですけども、いかがですか。
2:01:03	はい。中国電力の早田です。こちら強軸直交方向の断面選定のところ、理由を丁寧に記載させていただきます。はい。以上です。
2:01:15	はい、すいませんよろしく申し上げます私からは以上です。
2:01:20	はい、それでは切られたほか、
2:01:22	全体としてありますか。よろしいでしょうか。
2:01:26	すいません中国電力清水です。1 点誤記の訂正をするのを忘れていました。他よろしいでしょうか。はい。お願いします。
2:01:35	はい。資料番号 8 番のですね、25 ページになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:46	こちらの引張強度に関する記載のところで、FTK=というところで式を一応書いてございますがその上の文章の下から3行目。
2:01:58	でございます。算定式加工式1に基づく、
2:02:03	本解析の引張強度はとあるんですけども、この本解析のというのが不要な語句になっておりましたので、こちらを削除させていただきたいと思います。
2:02:18	はい、わかりました。
2:02:21	他、よろしいでしょうか。
2:02:25	はい。
2:02:26	では、それでは、本日、午前のヒアリングは終了いたします。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。